

令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	河内農業振興事務所			
評価対象事例名	将来を担う新規就農者の確保・育成			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	2	4	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	3	3	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	2	4	0
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	3	3	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	2	4	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	6	0	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	5	1	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	6	0	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	1	5	0
	⑩残された課題について検討されているか	2	4	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○他機関との連携や活動そのものの実施は評価できる。活動目標の設定について、より望ましいあり方について検討願いたい。

○新規就農者の確保・育成のため、研修先などに力を入れていることを評価する。今後も継続した取組を期待する。

○新規就農者の確保・育成のため、官民連携した「ネットワーク会議」の開催は適切な取組である。また、就農希望者が先輩就農者からの直々のアドバイスを聞く機会があることは大切である。

○新規就農者数を伸ばすために、よりチャレンジングな目標設定も必要。

○マイスターのもとで研修を受けた人からの評価や今後の課題を次の支援に生かしてほしい。